

議案第1号

令和3年度事業報告

我が国における少子高齢化社会の進展に伴う人手不足解消のため、「地域の担い手」として高齢者に対する期待は高まっており、高齢者に就業機会を提供するシルバー人材センターは地域のセーフティーネットとして欠かせない存在となっています。

そこで、令和3年度の事業実施に当たり定時総会で決定された事業計画に基づき、新たな役員体制の下、理事会及び理事会専門部会において分担して取り組んでまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況の中、経済活動が制約され事業活動の縮小を余儀なくされる等、前年に引き続きシルバー事業に大きく影響する結果となり、センターで取り組みを予定した事業も中止又は規模を縮小しての実施となりました。

具体的な事業実績ですが、年度末の会員数は624人となり、高齢等の理由により多くの退会者が発生しましたが、ひとり一会員一仕事開拓運動や特別キャンペーン等の効果もあり、前年対比0.5%（3人）の増と僅かですが4年ぶりに会員を増加することができました。

また、契約金額は3億7,648万円余で前年比2.9%（1,047万円）の増、派遣就業を含めた全体事業実績では3億8,958万円余で前年比2.3%（859万円）の増となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大前の実績には戻らない状況です。

契約額を部門別にみると、公共部門は新型コロナウイルス感染拡大による施設閉鎖等の影響はありましたが、新型コロナウイルス関連業務の就業が発生し昨年比99.1%とほぼ昨年並みの実績となりました。民間部門の事業所等においては、昨年度新型コロナウイルスの影響により大きく減少しましたが本年度はやや回復の兆しが見え11.0%（2,071万円）の増加となりました。しかし、一般家庭においては昨年比10.4%（945万円）の減となり、天候等も影響し農作業を中心に大きく減少する結果となりました。

また、労働者派遣事業につきましては、請負委任を基本としつつ、高齢者の就業機会の拡大と適正就業推進のため、「適正就業ガイドライン」に基づき派遣事業推進に取り組み、本年度は12社との間で契約を取り交わすことができましたが、新型コロナウイルスに伴う影響が大きい職種もあり12.6%（188万円）の減となりました。今後とも業務内容の検証を行うと共に、これらの事業に積極的に取り組んでいく必要があります。

「安全は全てに優先する」を基本に事故ゼロを目指し、「作業前後のミーティング」の励行を重点に安全対策を推進すると共に、年度始めには地区単位で安全講習を実施し受講の徹底による安全意識の向上に努めました。昨年比ではやや増加したものの事故件数を1桁に抑え

